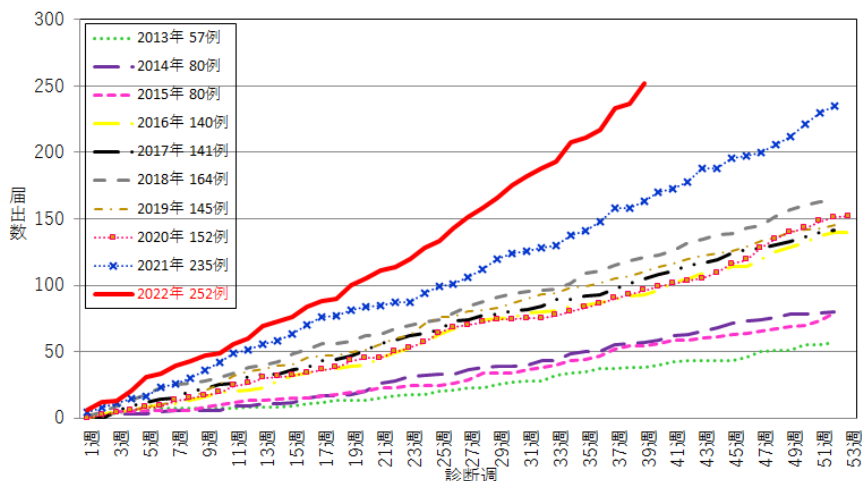


【今週の注目疾患】

《梅毒》

2022年第39週時点の梅毒累積報告数は252例であり、既に昨年の235例を上回って、1999年の現行感染症サーベイランス開始以降最多報告数を更新した(図1)。

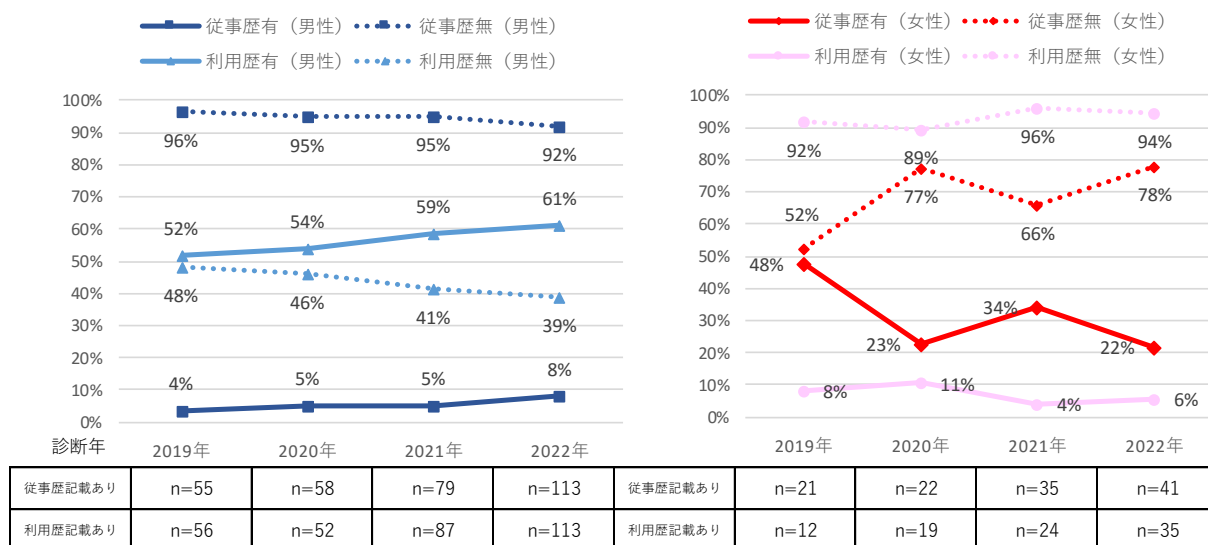
図1：2013年～2022年39週千葉県の梅毒年別累積届出数 (N=1446)



2022年第39週までに県内医療機関より報告のあった梅毒252例のうち、性別では男性173例(69%)、女性79例(31%)であり、男性が多かった。年代別では、男性は40代58例(34%)、30代39例(23%)が多く、次いで50代35例(20%)であった。女性では20代が48例(61%)で6割を占めた。2022年は現時点で、先天梅毒の症例は報告されていないが3例の妊娠症例が報告されている。

2019年1月から梅毒の届出様式が変更され、直近6か月以内の性風俗産業の従事歴・利用歴の有無等が届出内容に含まれた¹⁾。2022年は男性では性風俗産業利用歴有の割合が2019年から継続して増加傾向にあった。女性では性風俗産業従事歴無と利用歴無の割合がともに増加する一方で、女性の性風俗産業従事歴有の割合は2019年と比較して半分以下に減少していた(図2)。

図2：2019年から2022年第39週までの県内梅毒報告※における性風俗産業の従事歴・利用歴(直近6か月以内)の有無の割合(性別)



※従事歴・利用歴について不明もしくは記載なしの報告は含めない

梅毒は、梅毒トレポネーマを原因とする細菌感染症である。主な感染経路は菌を排出している感染者との性器や肛門、口腔などの粘膜の接触を伴う性行為や疑似性行為によるものである。予防としては、感染者との性行為や疑似性行為を避けることが基本となる。コンドームが覆わない部分の皮膚などでも感染がおこる可能性があるため、コンドームの使用は完全ではないものの予防効果があることが示唆されている^{2,3)}。早期発見・早期治療が重要である。再感染を予防するため、パートナーもともに検査を受けることが推奨される。県では保健所において無料・匿名の検査を実施しているとともに、（公財）ちば県民保健予防財団への委託による検査を実施している。受検を希望する方は活用されたい。なお、新型コロナウイルス感染症の流行状況に伴い変更される場合もあるので、最新の検査実施状況については、県ホームページ等でご確認いただきたい⁴⁾。

梅毒は、感染後 3~6 週間の潜伏期間を経て、継時的に様々な臨床症状が逐次出現する。

早期顕症梅毒第Ⅰ期 感染約 3 週間後に梅毒トレポネーマの感染部位（主に陰部、口唇部、口腔内、肛門等）に、しこりが形成されることがある。無治療でも数週間で軽快する。感染した可能性がある場合には、この時期に梅毒の検査が勧められる。

早期顕症梅毒第Ⅱ期 第Ⅰ期の症状消失後、4~10 週間の潜伏期間を経て、手のひら、足の裏、体全体にうっすらと赤い発疹がでることがあるほか、脱毛、発熱・倦怠感の全身症状等多彩な症状を呈する。無治療でも数週間で軽快するが、この時期に適切な治療を受けられなかった場合、数年後に複数の臓器に障害がおこることがある。

潜伏梅毒（無症状病原体保有者）梅毒血清反応陽性で顕性症状が認められないものをさし、第Ⅰ期と第Ⅱ期の間、第Ⅱ期の症状消失後の状態を主にいう。第Ⅱ期の症状が消失後、再度第Ⅱ期の症状を示すことがあり、これは感染成立後 1 年以内に起こることから、早期潜伏梅毒と呼ぶ。これに対して、感染成立後 1 年以上たつ血清梅毒反応陽性で無症状の状態を後期潜伏梅毒と呼ぶ。

晩期顕症梅毒 無治療で経過した者のうち、約 3 分の 1 で起こる。ゴム腫、進行性の大動脈拡張を主体とする心血管梅毒、進行麻痺に代表される神経梅毒に進展する。場合によっては死に至る。

先天梅毒 梅毒に罹患している母体から胎盤を通じて胎児に伝播される多臓器感染症であり、死産、早産、新生児死亡、奇形が起こることがある^{2,3)}。

■参考

1)国立感染症研究所：IASR Vol.41

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/syphilis-m-3/syphilis-iasrtpc/9342-479t.html>

2)国立感染症研究所：梅毒とは

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/465-syphilis-info.html>

3)厚生労働省：梅毒に関する Q&A

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

4)千葉県：梅毒が増えています

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/baidoku.html>